

Ab-Capcher Mag の IgG 捕捉率に対する反応時間の効果

ヒト IgG 精製手順

ヒト IgG (2 mg/mL) 250 μ L (合計 0.5mg)

↓
Ab-Capcher Mag (10 μ L) に添加

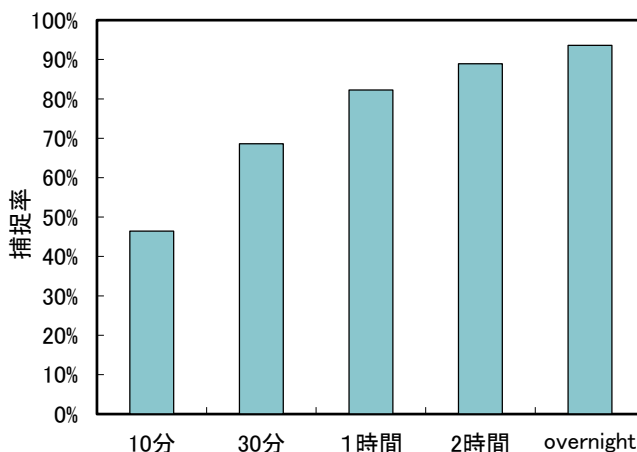
↓
振とう (所定の時間)

↓
洗浄 (PBS)

↓
0.1 M Glycine-HCl (pH 2.8) 溶出

反応時間	回収ヒト IgG	
	(mg/mL gel)	捕捉率
10分	23.67	46.4%
30分	34.99	68.6%
1時間	41.12	82.2%
2時間	44.24	88.9%
overnight	46.55	93.6%

* overnight : 2時間振とう後、
冷蔵にて一夜静置



マウス IgG 精製手順

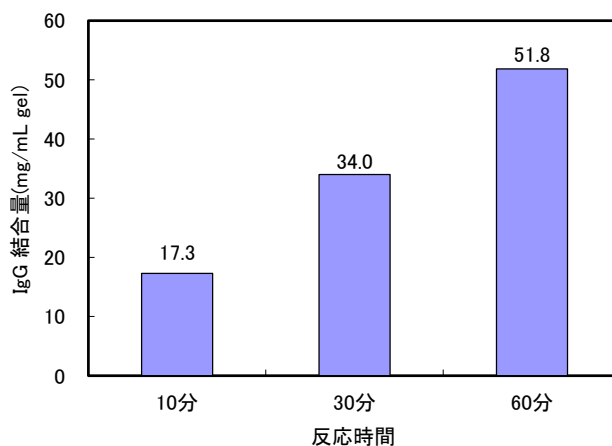
2倍希釈 マウス血清 200 μ L

↓
Ab-Capcher Mag 10 μ L gel に添加
(10 mL/mL gel)

↓
振とう (所定の時間)

↓
洗浄 (PBS)

↓
0.1 M Glycine-HCl (pH 2.8) 溶出



ヒト IgG 溶液 25 倍量を Ab-Capcher Mag に 50 mg/mL gel 相当量添加し、抗体精製量とその捕捉率に対する反応時間の効果を調べた。その結果、反応時間を長くすることで収量は増加し、1時間で 82%、2時間で 89% の収量となった。さらに収量を上げたい場合は一夜静置 (4°C) することで 90% 以上の IgG を回収することができた。次にマウス血清からの抗体精製量に対する反応時間の効果を調べたところ、マウス抗体についても反応時間を長くすることで精製量は増加し、1時間の反応で 51.8 mg/mL gel の IgG を精製することができた。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>